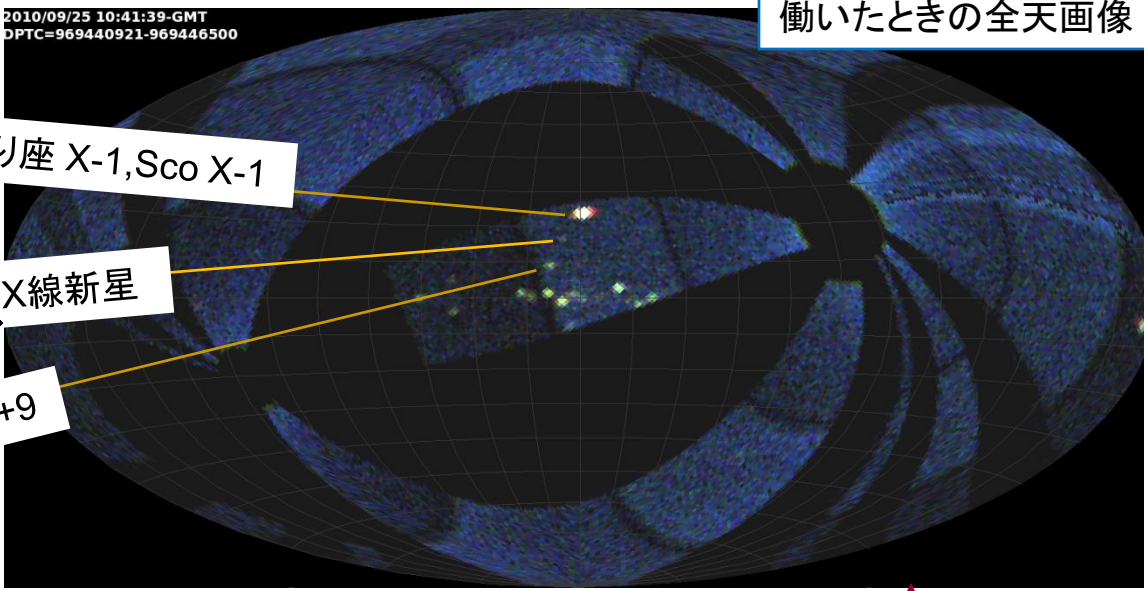
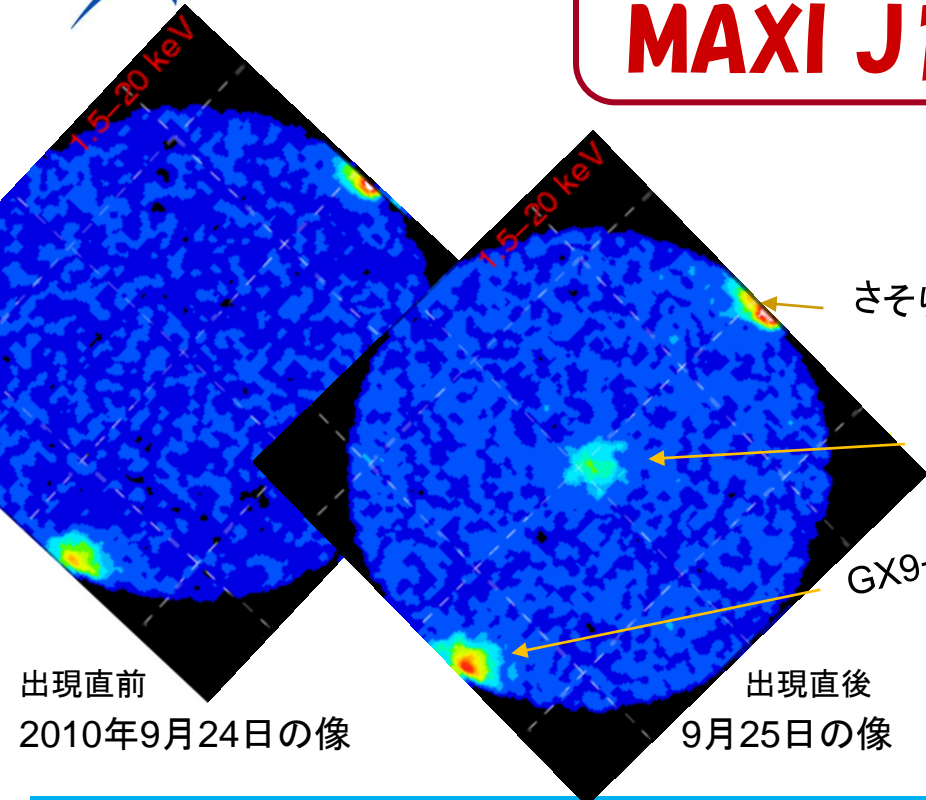


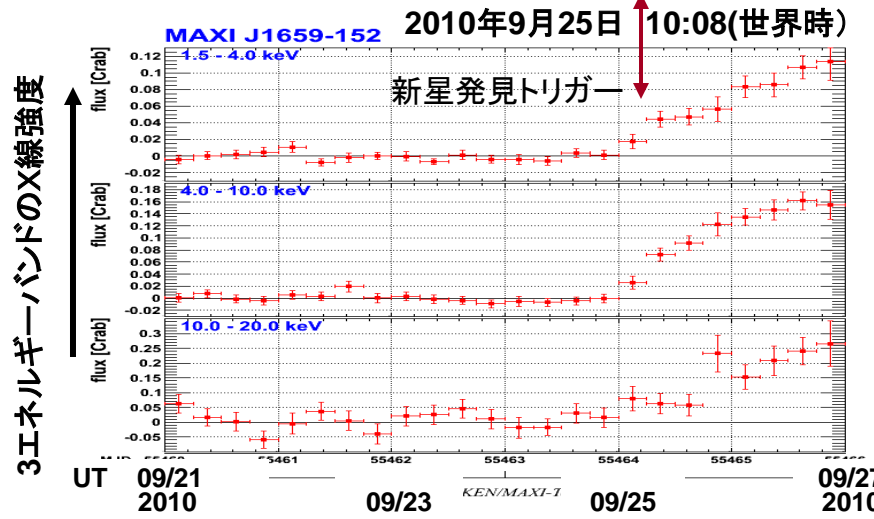
へびつかい座X線新星 MAXI J1659-152 の発見

新星発見のトリガーが働いたときの全天画像



MAXIチームの根来均(日大)はMAXIの新星速報システムで、2010年9月25日 10:08(世界時)を含む周回で『かに星雲X線強度』の約1/25のX線新星を見つけた。この結果を受けMAXIチームは、X線新星に興味のある世界の天文学者に直ぐメールで知らせた。その後の解析で、この新星は右図で示すように、9月25日の初めから強度を増し明るくなっていることがわかり、MAXI J1659-152 と命名し、Astronomer's Telegram* ([Atel#2873](http://www.astronomerstelegam.org/))で世界に通報した。その後この名前を付けた10数報の速報が発行され、このMAXI名は世界的に定着した。また、ブラックホール新星であることもわかった。

*: <http://www.astronomerstelegam.org/>



3エネルギーバンドのX線強度